

「がん対策応援団」を募集します

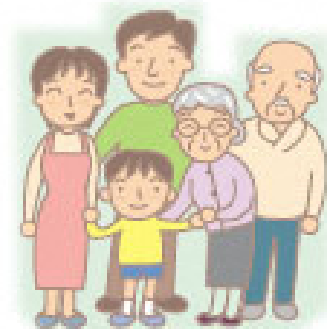
国立がん研究センターがん対策研究所 「患者・市民パネル」の募集について

■がんの情報をわかりやすく発信するためにご協力ください。

国立がん研究センターでは、ウェブサイト「がん情報サービス」やがんの冊子などの情報を、よりわかりやすく、使いやすい情報とするために、全国のがん患者さん、ご家族、市民の方々に「患者・市民パネル」として協力いただいています。新年度のメンバーを募集していますので、ご応募をお待ちしています。

【主な活動の内容】

- 課題や取り組みへの意見
- 調査への協力
- がん対策にかかわる活動（講演会の案内など）の広報
- パンフレットやウェブページの情報の見やすさ、わかりやすさなどのチェック
- 意見交換会などの会議への出席



■詳細および応募方法

がん情報サービス(ganjoho.jp)の
「患者・市民パネル」募集案内をご覧ください。→
応募締切 2022年1月12日(水)(当日消印有効)



問合せ先

国立がん研究センターがん対策研究所
「患者・市民パネル事務局」

E-mail: Panel-oubo@ml.res.ncc.go.jp

選考基準などに関する個別の問い合わせにはお答えできません。
年末年始は対応を休止します。



「がん情報ギフト」のプロジェクトの命名は
患者・市民パネルからの発案によるものです。

「がん対策応援団」を募集します

～国立がん研究センターがん対策研究所「患者・市民パネル」の募集について～

■応募資格

がん対策への関心・熱意・見識を持った18歳以上の方(2022年4月1日現在)で、次の4つの条件をすべて満たしていることが必要です。ただし、国会議員および地方公共団体の議会の議員、常勤の国家公務員を除きます。また、これまでに4年以上、「患者・市民パネル」を経験された方の優先度は下がりますので、ご承知おきください。

- (1) 下記(a)(b)のいずれかに該当する方 ※患者会の所属有無を問いません。
 - (a) がん患者もしくはがん経験者、または現在もしくは過去においてがん患者の家族、介護者、がん患者のサポートに携わったことのある方、もしくは携わろうとしている方
 - (b) 上記(a)には該当しないが、適切ながん情報の普及啓発に関心のある方
- (2) 国立がん研究センターの活動を理解し、医療専門家と患者・一般市民の双方の立場を踏まえた活動ができる方
- (3) 多様な人々と協調し、日本語でうまくコミュニケーションをとれる方、調整できる方
- (4) 単独または家族の支援により、インターネット・パソコン・電子メールを使うことができる方

■メンバー経験者からの声

申込動機などを応募書類に書き込んでいたうちに、自分のこれまでの病気などの振り返りができたことを思い出します。素敵な出会い、繋がり、たくさんの学びがありました。得たことを地元の活動に役立てていきたいと思えます。(山梨県 女性)

応募した頃、私は患者会や支援活動などとも無縁、普通の患者でした。かけがえのない経験により、居住する県で初めて、自分の罹患しているがんの患者会を設立することができました。(北海道 男性)

患者・市民パネルになって、自分の住んでいる地域の自治体のがん対策に初めて関心を持ちました。地域が違っていると医療事情や患者さんの抱える悩みが違ってくることを知り、いろいろな気づきを得ることができました。(東京都 女性)

がんに関する情報が、どのような過程を経て発信されているのか。パネルの活動を通して、その長い道のりや関わる方々の役割・想いを知り、またその一部に関わる機会をいただき、社会に対してできることを以前よりもイメージできるようになりました。(大阪府 女性)

ご興味がおありの方、共に活動したい皆様のご応募をお待ちしております